

陳 情 文 書 表

(都市計画局)

受 理 番 号	2 7 5 0	受 理 年 月 日	令和 7 年 2 月 5 日
件 名	桃陵市営住宅団地再生事業検討委員会の公開等		
要 旨	<p>桃陵市営住宅団地再生事業検討委員会が、昨年12月11日、今年1月30日と2回にわたり開催されている。この検討委員会は、事業内容（事業目的、市営住宅の整備、入居者移転の支援など）、事業手法の選定（調査検討の経過、分離分割発注と民間活力導入の比較、事業手法の決定など）について審議を行っている」と報道されている。</p> <p>検討委員会の会議は非公開で、各回の会議の要旨は、開催後1か月程度以内に京都市情報館に公開すると説明されている。しかし、京都市情報館のホームページに掲載されている第1回検討委員会の議事内容を見れば、事務局から桃陵市営住宅の概要、これまでの事業経過、事業内容及び事業手法等を説明した後、質疑応答、意見交換及び審議を行ったと記されているだけで、それ以外の記述はない。</p> <p>このような実態では、今後の再生事業がどのように具体的に進められるのか、その中で団地住民や周辺住民の要望がどのように採り入れられるのか、知るべきがない。住民を置去りにするような団地再生事業であってはならないと思う。</p> <p>また、こうした検討委員会の在り方は、京都市がこれまで入居者及び団地周辺住民アンケートや住民説明会を実施して、住民への情報公開を基に、住民の理解と協力を得ながら桃陵市営住宅団地再生事業を進めてきた基本的な姿勢とも異なるものではないか。</p> <p>ついては、以下のとおり桃陵市営住宅団地再生事業検討委員会の在り方を抜本的に見直すことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 桃陵市営住宅団地再生事業検討委員会の会議を公開にして、傍聴を認めること。 2 京都市情報館に掲載される各回の検討委員会の議事内容については、情報公開の原則に基づいて、住民にもその内容がよく分かるように、可能な限り具体的なものにすること。 		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		